

乗合タクシーについて

<目次>

乗合タクシーの利用実績等

- 1 平成30年度乗合タクシーの利用状況 …P 1
- 2 乗合タクシー利用者数の傾向と分析 …P 2
- 3 今後の乗合タクシーの利用促進 …P 5

乗合タクシーの利用実績等

1 平成30年度乗合タクシーの利用状況

(1) 平成30年度の利用状況

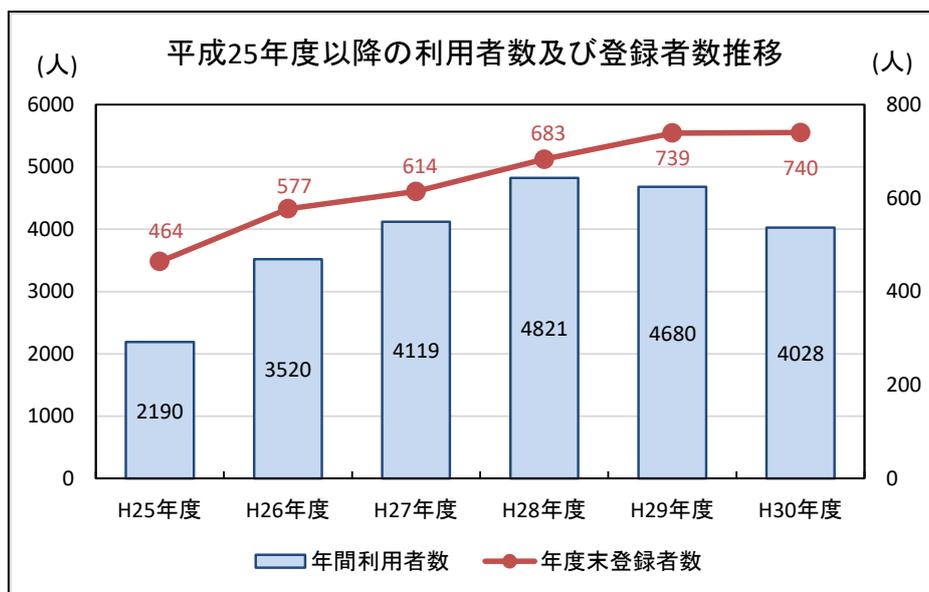
年間利用者数	運行日数	1日平均利用者数	年度末登録者数	利用者利用料
4,028人	292日	13.8人	740人	670,650円

(2) 平成30年度年間利用者数の登録区分別内訳

	一般利用者	障害者手帳等所持者・要介護(要支援)認定者	シルバーパス所持者	介助者	小学生	未就学児
利用料金	300円	150円				無料
利用者数	581人	1,358人	1,774人	161人	16人	138人
利用者割合	14.4%	33.7%	44.0%	4.0%	0.4%	3.4%

- ・ 障害者手帳等所持者、要介護（要支援）認定者及びシルバーパス所持者の利用が全体の約78%を占めている。
- ・ 障害者手帳等所持者及び要介護（要支援）認定者の利用者のうち約12%が介助者と同乗している。

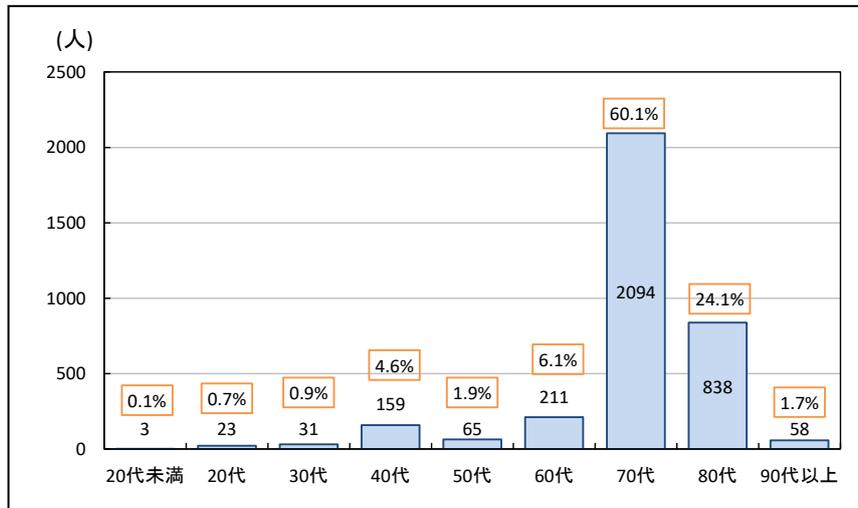
(3) 各年度の利用状況の推移



- ・ 登録者数は、運行開始から平成29年度まで増加傾向で推移し、その後は横ばい
- ・ 利用者数は、運行開始から平成28年度まで増加傾向で推移し、その後減少傾向

2 乗合タクシー利用者数の傾向と分析

(1) 年代別の利用内訳



(注) 上表の人数は予約を行った利用者のものであり、同乗した利用者の人数は含まれない

- ・ 70代以上の利用者が占める割合は、約85%
 - ・ 60代以下の利用者が占める割合は、約15%
- ↓
- ・ 高齢者の方には利用しやすい移動手段として定着しているが、若い世代の方は、他の移動手段を用いていると考えられる。

(2) 回数別の利用内訳

次の表は、前回地域公共交通会議での意見を踏まえ、利用者の利用回数ごとの利用の実態を整理したものであり、平成30年11月及び平成31年3月における利用回数を5回ごとに区分し、それぞれの人数を示したものである。

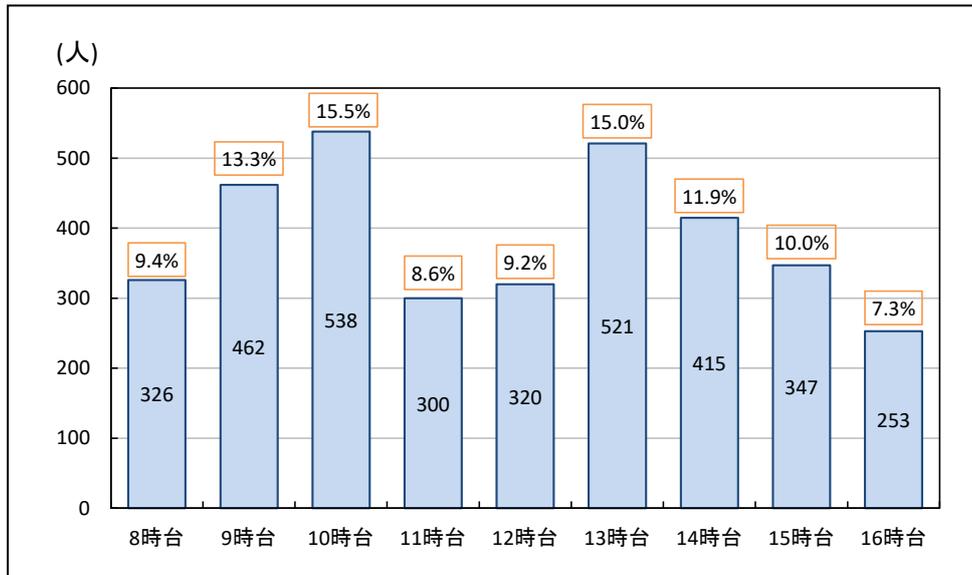
区分	平成30年11月				平成31年3月			
	人数	割合	予約回数	割合	人数	割合	予約回数	割合
利用なし	656人	90.6%	0件	0.0%	670人	89.5%	0件	0.0%
1回～5回	54人	7.5%	129件	44.2%	66人	8.8%	144件	53.5%
6回～10回	10人	1.4%	84件	28.8%	10人	1.3%	72件	26.8%
11回～15回	2人	0.3%	25件	8.6%	2人	0.3%	24件	8.9%
16回～20回	0人	0.0%	0件	0.0%	0人	0.0%	0件	0.0%
20回以上	2人	0.3%	54件	18.5%	1人	0.1%	29件	10.8%
合計	724人	100.0%	292件	100.0%	749人	100.0%	269件	100.0%

- ・ 一か月間で1度も利用しなかった登録者が約90%を占める。
- ・ 予約回数が6回以上の利用者は、約半数を占め、そのうち予約回数が20回以上の利用者は、一人当たりで30回弱の利用をしている。



- ・ 頻繁に利用する利用者の利用動向が、利用件数全体の増減に大きく影響する状況にある。

(3) 時間帯別の利用内訳



(注) 上表の人数は予約を行った利用者のものであり、同乗した利用者の人数は含まれない

- ・ 利用が多い時間帯は、10時台、13時台
- ・ 利用が少ない時間帯は、11時台、12時台、16時台
- ・ 利用が少ない時間帯の利用者数は、利用が多い時間帯の約1/2程度
- ・ 利用予定の前日までに予約する利用者は少なく、ほとんどが当日予約
- ・ 利用が多い時間帯でも、予約が一杯であるなどの理由により予約をお断りするケースはほとんどない。
- ・ 一方で、予約時に、およそ40～50分程度後にお迎えできる案内を行っても、「それなら予約はしない。歩きや別の手段で行く。」と利用を見送るケースがある。



- ・ 利用者数が最も多い時間帯の前後に、利用者数が最も少ない時間帯が存在することから、今後、可能な範囲において、それぞれの利用者の傾向(年代や乗降場所など)の分析を深めていく。

(4) 乗降場所別の利用内訳

【平成28年度～30年度における乗降場所別利用状況】

乗降場所名	28年度		29年度		30年度		28-29 増減	29-30 増減
	利用者数	割合	利用者数	割合	利用者数	割合		
①市役所	756人	15.7%	760人	16.2%	693人	17.2%	4人	-67人
②市民総合センター	606人	12.6%	155人	3.3%	166人	4.1%	-451人	11人
③保健相談センター お伊勢の森分室	53人	1.1%	63人	1.3%	86人	2.1%	10人	23人
④武蔵村山病院	1,115人	23.1%	1,324人	28.3%	1,051人	26.1%	209人	-273人
⑤村山医療センター	207人	4.3%	168人	3.6%	245人	6.1%	-39人	77人
⑥交通プラザ (イオンモール)	1,685人	35.0%	2,028人	43.3%	1,266人	31.4%	343人	-762人
⑦村山温泉かたくりの湯	161人	3.3%	14人	0.3%	199人	4.9%	-147人	185人
⑧総合体育館	102人	2.1%	26人	0.6%	113人	2.8%	-76人	87人
⑨武蔵村山郵便局	35人	0.7%	42人	0.9%	52人	1.3%	7人	10人
⑩三ツ木地区 学習等供用施設	7人	0.1%	16人	0.3%	20人	0.5%	9人	4人
⑪残堀・伊奈平地区 学習等供用施設	64人	1.3%	17人	0.4%	71人	1.8%	-47人	54人
⑫第二老人福祉館	7人	0.1%	29人	0.6%	24人	0.6%	22人	-5人
⑬緑が丘ふれあいセンター	23人	0.5%	38人	0.8%	42人	1.0%	15人	4人
合計	4,821人	100%	4,680人	100%	4,028人	100%	-141人	-652人

- ・ 最も利用者数が多い「交通プラザ（イオンモール）」及びそれに次いで利用者数が多い「武蔵村山市病院」において、それぞれ前年度比で大幅な利用者数の減が見られる。
- ・ 当該2箇所の合計減少人数1,035人は、増となった箇所の合計増加人数455人を大きく上回っており、全体として大きな減となっている。
- ・ 当該2箇所での利用者減少につながるような「新たな商業施設の開設」、「バスなど公共交通環境の大きな変化」、「新たな医療施設の開設」などの外的要因はないと考えられる。



- ・ 利用者個々の利用状況の変化によるところが大きいと考えられることから、今後、可能な範囲において、当該2箇所における利用者の傾向（年代や利用時間など）の分析を深めていく。

3 今後の乗合タクシーの利用促進

(1) 年代別・回数別の利用内訳を踏まえた利用促進策の方向性

- ・ 特に高齢者層に対し、近年頻発している自家用自動車事故の減少につながることも、地域の公共交通である乗合タクシーの利用案内の一層の強化が必要
- ・ 他の移動手段を用いる世代に対し、乗合タクシーの認知を高めてもらうことが重要
- ・ 頻繁に利用する方など一部の利用者にとどまらず、利用者を広く増やしていくことが重要



- ・ 対象者が居住する地域の残堀・伊奈平地区会館などにおける臨時登録受付の実施
- ・ 高齢者の利用が多いことを踏まえた地域包括支援センターなどを通じての登録・利用の周知
- ・ 他の利用促進策を検討の上、その実施と時機を合わせた、利用したことがない登録者に向けた利用の周知

(2) 時間帯別の利用内訳を踏まえた利用促進策の方向性

- ・ 利用が多い時間帯に利用する方の一部を、少ない時間帯の利用に誘導する環境づくり
- ・ 時間帯別の利用者の傾向（年代や乗降場所など）の分析により、図りうる対応策を検討



- ・ 分析や実現性を踏まえた上で、今後の会議で具体策の案を提示

(3) その他の利用促進策

- ・ 「運行対象地域以外に居住する親族や友人を同乗させられないか。」などの利用者からの意見等を踏まえ、利用登録者の同乗者の範囲拡大についても、引き続き検討を進めていく。